舵輪

1994. 10. 20
vol. 19

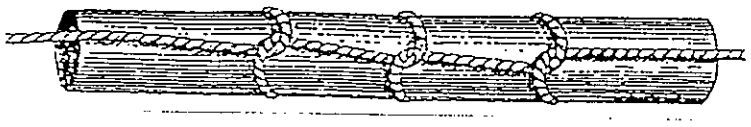
チョッサーからのお知らせ

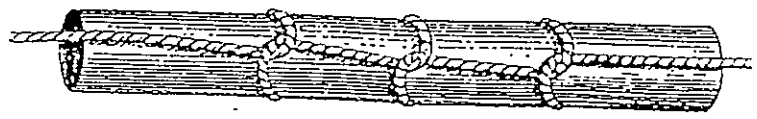
一〇月六日、早朝にもかかわらず、ボランティアの皆様をはじめ、海王丸関係者多数の見送りを受けて、一路、ハワイへ出港しました。

ハワイ航路は、遠洋航海に乗り出すのは、本船にとって、新日本海重工の造船所で、新造されてから、初めてのことです。

ハワイ沖は、雨と霧の中、一〇月三日（木）、同内容の、三日間、ハワイ沖の、ハワイ・ホノルル間を、往復しました。

ホノルル港に、入港した、翌日、ホノルル港を、出港した、翌日、ホノルル港を、出港した、翌日、ホノルル港を、出





釘本和秀

業務課員

平成四年に富山に着任して、あという間に二年半が過ぎました。今では大変懐かしい富山での生活は、本当に楽しくさんの方々に指導をいただいたことが、今では大変ありがたく思っております。海王丸の後ろ姿を見てみたいと思います。

海王丸は、冬季は都合で、もう少し住んでいる人々に気持ちをもってみたいと思います。（あとひとつ、私は船方です。動いてみたいと思います。）

水落昌直

業務課員

航海訓練所練習船海王丸を下船し、（財）帆船海王丸記念財団に業務課員として着任しました。

私にとって、就職当時、配乗担当官であった平井氏（現常務理事）の指導のもと、乗船を命じられました。

私にとってのマザーシップの面倒をみることができることに、さやかな喜びを感じております。

また、ボランティアの皆様とも帆船を語るいい機会だと思います。四月からの総帆展帆等でのご助言、ご指導宜しくお願いいたします。

山本徹

業務課員

（財）帆船海王丸記念財団業務課員として着任しました。

出身は小豆島、育ちは京都。京都出身で船に乗っていた人間は珍しい、とよく人に言われます。

二年半前に練習帆船日本丸で新港に寄港した際、海王丸の回航作業を対岸より見ながら、大変そうだなと眺めつつ出港し、その時は、こちらに来ることになろうとは、夢にも思っていませんでした。

かしこまりました。秋からこちらに来るようにと言い渡されました時は、少しばかり不安がありましたが、着任してみると、今は、ドック中と言う時に乗船していた時

高橋武男

業務課員

ボランティアの皆様のお話しを、私は皆様方のお話しを、釘本さんの方々の皆様方のお話しを、高橋さんの皆様方のお話しを、高橋さんの皆様方のお話しを、高橋さんの